

# 弓道ながの

第82号

発行：長野県弓道連盟  
会長 松島貞治  
〒399-1801  
下伊那郡泰阜村4139  
TEL0260(26)2628  
編集：県弓連広報部  
印刷：(株)成進社

## 巻頭言

### ごあいさつ

長野県弓道連盟副会長 清水史明



長野県弓道連盟の皆様におかれましては、日頃より高校の弓道部ならびに高等学校体育連盟弓道専門部の活動にご理解とご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。私は、本年度、前副会長 八角裕之先生の後任として副会長を仰せつかりました清水史明と申します。現在は長野工業高校で勤務しております。

さて、弓道ながのの寄稿を依頼されましたが、十年以上弓道から遠ざかっていたため、近年の弓道に係ることに大変疎くなっているため、副会長にふさわしい挨拶ができません。大変申し

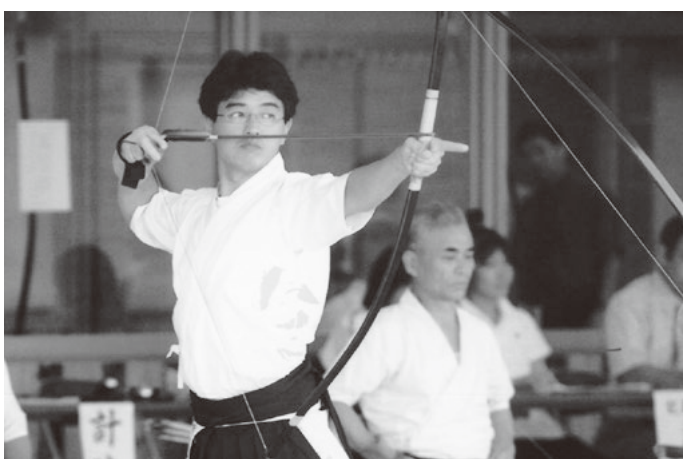
訳ございませんが私の個人的な弓道との関わりを記載し挨拶に替えたいと存じます。

私の弓道との最初の出会いは小学校のころだと思えます。私は上田市出身で幼少のころは良く上田城跡公園に行きました。当時、上田市の弓道場は城跡公園の中にあつたため公園を歩いてみると道場で弓を引いている方がいてその姿をよく見ていました。子供のころの感想は何でゆっくり引いているんだろう、早く撃てばいいのにと思っていました。的に中たるのが面白くてじっと見ていました。その頃の思いもあり、高校で弓道部に入りました。弓道を指導できる顧問が居ませんでしたので、先輩方の指導と部員たちで教本を見ながらの活動でした。

昭和六十三年に教員として飯田長姫高校に赴任しました。高校のころから飯田下伊那地方は飯田女子高校が全国で活躍しており弓道が盛んなところだと思っていました。しかしながら、飯田長姫高校には弓道部がありませんでした。最初はラグビー部の顧問をしていましたが、弓道を始めたい生徒がいれば始めようと思ひ、担任をしているクラスの生徒に声を掛けたら3名ほど希望をしたので同好会から始めました。当時、学校の近くに旧鼎町の弓道場があり、あまり使用されていなかったのでもそこを練習場に借りることができました。また、近隣の高校の顧問の先生方や飯伊弓道連盟の皆様にもとても親切にしてくださいだき軌道に乗ることができました。すると新入部員が急増し、同好会発足から二年ほどで正式な部になり、数年後には学校で最も部員の多い部になり、学校に弓道場も新設していただきました。

平成十二年から中信地区の池田工業高校に赴任しました。そのころの中信地区は南信地区で顧問をしていた実力のある同世代の先生方が多く中信地区に転動してきたため、年々レベルが上がり、中信地区でも勝ち抜くことが難しくなりました。でも、近隣の高校と練習試合を定期的に行ったり、顧問が集

まって懇親会を行ったり弓道部の顧問として充実して行きました。弓道からは人としての成長の過程や教員生活を送るうえで多くの事を教わりました。今後は恩返しをする意味でも少しでも弓道の発展に貢献できればと思っております。



◀平成16年 全日本教職員大会にて

寄稿

小林先生に聞く!! 「長野県弓道連盟さんの射を拝見して感じること」

新潟県弓道連盟会長 小林 憲二

小林先生は、全日本近の選手権 全国大会には数多く出場、入賞もされました。平成二十七年には八段に合格され、それ以降は中央講師・中央審査委員を務められ、現在、新潟県弓道連盟会長でいらつしやいます。

信越講習会等では馴染み深いのですが、この度一週にわたり新潟県、長野県の講習会の主任講師をしていただきました。

長野県の印象など、中央の先生の目から見た長野県の弓士への珠玉のメッセージです!



私が弓を引き始めてから五十年をすぎましたが、長野県さんと弓道のお付き合いも、それなりに長いものとなりました。国体・全日本弓道選手権等を通じて多くの先生方の射を学びましたし、交流して参りました。

昨今の講習会・審査会等で射を拝見すると、少し射が小さくなったかなと感じます。

体配について、動作は間違いではないのですが、その動作の理解が足りないように見える人がいます。

何故その動作をやる必要があるのか、その動作で何をやらなければならぬか。

例えば、歩行中に踵を上げないようにするのは何故? 立った姿勢で鼻頭を通して4m先を見るのは何故? 肌脱ぎで袖口を持った後の所作の意味。

知っている、できるとは違う。できても意味が解らなければ幾らやっても、上手にはできないと考えます。全て指導が足りないとは思いませんが、逆に細かいところまで指導すると指導された方は自分で考えなくなることがあります。

己で研鑽を積む努力が昔の先生方より無くなってしまったのかな? それとも情報が溢れすぎたのか。これは長野県さんだけの問題ではないと思えます。

射技に関して、執弓の姿勢で肘の張、縦線の利かせ方、気力の充実のさせ方が弱く感じます。

だから、道場に入場するとき小さく見えます。演武させていただき



すと心に言い聞かせて入場して欲しいと思えます。

次に足踏みが狭く角度が広すぎる人が多く見受けられます。これでは正しい胴造りができないはず。胴造りができなければ、縦線は強くできないはずで悪循環です。これが手先の射が多くなる原因に思われます。先ほど執弓の姿勢を書きましたが、両手の内を決めた後、縦線を確認し、両肘の張を確認。この時の肩の位置も確認しているでしょうか? 引き分けで右肩が肘と一緒に動いてしまう人が時々見受け

弓道合宿予約随時受付中!

野辺山洗心弓道場

- 近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)
- 12人立2ヶ所
- 遠的道場 1ヶ所

帝産ロッチ

〒384-1305  
長野県南佐久郡南牧村野辺山1003  
HP: <http://www.teisanlodge.com/>  
ご予約・お問い合わせは 0267-98-2861





られますが、支点が動くと思われず安定した収まりにはならないと思われず。脇の下の張り、右肩の詰め合いと妻手が矢筋に働いていれば残身で右手がガクンと下がることはないはず。今は、大離れを推奨しています。中離れでも矢筋に力が働いていけば、妻手は矢筋に飛びます。下には行きません。離れは体の中心(丹田)から押し開くことであり、手を開くことではないと思います。

押し手に関してですが、離れで的に突っ込んで(押し手が下がる)いる人が多く見受けられます。

会で脇の下の張があり、肩の詰めを確認し矢筋に力を働かせ離れれば、手は大きく落ちないはず。矢は放物線を描きの中心に吸い込まれる、だから押し手を的に突っ込む必要はありません。

また、弓返りをさせる為、離れで手を突き上げたり握り返した弓返しはよくありません。良い弦音も出ません。自分の弓の握りの幅・高さ共、最適でしようか？ 手の大きい人は、要注意です。

残身(心)について、射の総決算のはずなのに、氣迫(氣力)が感じられない人が多いと感じます。常日頃の稽古で、それを求めているか？ 離れで意識が無くなっていないか？ 離れから矢が吸い込まれていく様は、爽快です。

最後に各人が稽古している道場に於いて、高段者に敬意を払うことは勿論ですが、高段者は偉いのではなく責任が重いと考えなくてはいけないと思います。また自分の教わったことは、次の人達に確実に伝わるよう日々研鑽を積み重ね、新しいものも取り入れ、活気ある道場にしていかなければならぬと思います。弓道場に来た時よりも、皆が元気になって、また明日も稽古しに来ようと思える弓道場が理想と考えます。

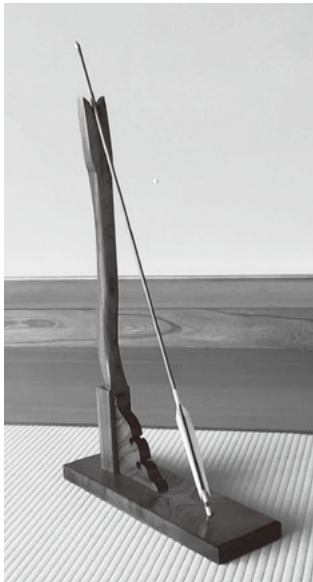


## 飯田県営弓道場へ 矢渡用矢立の寄贈

令和四年四月に飯田県営弓道場へ矢渡用の矢立を寄贈したい、という話をいただきました。その人は、全日本女子選手権はじめ大会で活躍し、県弓連理事、飯伊弓友会の支部長も務められ、昨年、見事に七段に昇段された飯田市の藤澤敏子先生です。

支援のおかげであり、お礼の気持ちです」とあいさつをされました。これから県営弓道場での矢渡では、この漆塗のすばらしい矢立を使わせていただきます。長い間大切に使用させていただきますようお願いいたします。(文責 会長 松島貞治)

県営弓道場は、長野県の管理ですが、弓道場の安土幕はじめ弓道関係者から寄付をいただいたものもたくさんあります。そんな経過もよくご存知で、長野県弓道連盟の会長へということで連絡をいただきました。誠にありがとうございました。深く感謝しながら私が代表して受領いたしました。ただ、県営弓道場でお披露目をする機会がなかなか無く、この六月飯伊弓友会の例会が県営で開催された折、改めて披露させていただきます。藤澤先生は、「七段に昇段できたのも県営弓道場で稽古させていただいたこと、また皆様の



# 北信越地区指導者講習会を受講して

錬士五段 保木野 克海

令和四年五月十四日に新潟県立武

道館弓道場で開催された北信越地区指導者講習会に参加させていただきました。

新潟県 小林憲二先生、長野県 杉田博先生の講師のもと、新潟県と長野県からそれぞれ六名、計十二名が受講しました。

通常であれば北信越五県から集まりますが、いまだコロナ禍のため、会場を分けて少人数で行われました。

開講にあたり、小林講師から「ただでさるのでなく、上手くできて指導ができるように」というお話がありました。

この貴重な機会を逃さぬよう気合が入りました。

矢渡は小林講師が射手をされ、受講生が介添をつとめました。

介添をつとめることになっては大丈夫なように覚悟していたのでご指名いただけなかったのは残念でしたが、小林講師の射を存分に見取り稽古できました。

講師で杉田講師は、「細かい点まで理解しておく必要がある」「蹲踞は苦しいが、腰を浮かすのは隙を作らないため。楽をし

てはいけない」と話されました。

「一手行射の後、手先を使わないで身体の中から張っていくこと、「胸の中筋に従い」を研究・努力すること、残身で気力・伸びを感じられるようにすること等のお話がありました。

その中で私は「弓倒しで気が抜けている」とご指摘いただきました。

「的に囚われると流れが止まりやすい」というお話もあり、的への執着

には気づかれました。

講話では、指導者の注意点として「縦横十文字の構成など重要な点がぼやけるため、細かすぎる指摘はよくない」「おしつけではなく相手に考えさせる。自分で考えながら弓を引く人を育てる」(昇段昇格すると)自分が変わったつもりがなくても周囲が変わる。偉くなったのではなく、責任が重くなった。言葉や態度に十分注意し、間違った言動には指摘してくれる仲間や環境が大事」と話されました。

弓道では矢羽に始まり、鏢、竹弓など自然のものを使った道具を使用しており、環境保護や持続可能な社会について一人一人が見識を持つことが大事だとお話がありました。

その後は射技指導をいただきながら射札研修を行いました。

打合せは全部やろうとせず大事なポイントを決めて行うよう教えていただきました。

もっと経験を積まなければならないと思いました。

最後に射技指導を受け、仕上げの行射を行いました。

ご指導いただいた点を確認しながら一杯の一手を行射し、終了となりました。

本講習会を通して、日頃の稽古が不十分であると痛感しました。

弓に向き合う姿勢を見直す良い機会となりました。

最後になりますが、このような貴重な講習会に参加させていただいたことに深く感謝申し上げます。

ありがとうございます。





# 令和四年度信越講習会【称号者の部】に参加して

安曇支部 鎌士六段 荒川 保

令和四年五月二十一日と二十二日の各日に信越講習会【称号の部】が飯山市弓道場にて開催されました。

本来ならば二日間にわたる講習会ですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から各一日の講習会を二回行うこととなりました。

コロナ禍での集まりがすべて中止となり、私が前回の講習会に参加させていただいてから実に三年ぶりとなります。日常が徐々に戻ってきたとはいえ講習会の開催を決断してくださった先生方には大変感謝いたしております。ありがとうございます。

さて、今回の講習会は主任講師に範士八段 杉田博先生、講師として教士七段 安達行法先生、教士七段 新津一夫先生をお迎えし、二十一日は二十四名、二十二日は二十二名で行われました。

開講式にあたり、主任講師の杉田先生からは「本来ならば二日間の講習会を一日で行うのでハードスケジュールになりますが頑張ってください」とのお話がありました。久々の緊張感の中、はじめの一手行射は「一次審査」



ということで行いました。合格しなければ午後の一つの射礼には参加できないのではないかと不安を抱きながら入場しましたが、最近是人前で弓を引く事がめつきり無くなり、いかにやっているつもりでできていなかったかを感じた事となりました。礼記射義の「審固」という言葉がいかに難しいか：

射技指導ではできるだけ矢数をかけられる様にと配慮していただきま

したが、時間の関係で三人の先生に見ていただくことはできませんでした。しかし短い時間の中、取懸けから肩の使い方、力の方向と細かな所までご指導いただく事ができました。

一つの射礼では入場から坐礼、歩きながら射手間隔の調整、肌脱ぎ肌入れ、足の閉じ方など基本の動作。三人がタイミングを合わせられるようにゆっくりと坐る、ゆっくりと立つ訓練が大切など日頃手を抜いてしまいそうなところを確実にできるようにと指摘がありました。

閉講式では、主任講師の杉田先生から「基本は全ての前提である。体配の基本は道場だけでは無く、家でも普段の生活の中でもできる。意識しなくても体が動くようにして審査や大会に臨めば、緊張するような場面でも射に集中できる。頭では解っているが体が動かないという事の無いように教本をしっかりと読んでやってみる事が大切である」とのお話がありました。

私はそれを聴きながら、今までにこの様な言葉を何十回聴いてきたのだらう。そして弓友とこの様な話を何回してきたのだらうか。そんなことを自分に問いかけていました。反省ばかりの講習会でしたが、先生方からいただい



たヒントを基に試行錯誤しながら自分なりの答えを見つけられるよう稽古をしていきたいと思えます。

しばらくご無沙汰だった懐かしい面々と、緊張感・充実感を味わいながらあつという間の一日でした。懇親会で昔話や裏話を聞くことはできませんでしたが、一日でも早くコロナ前の生活が戻り、皆さんと一緒に弓を引き、弓道談義ができるようになることを祈りながら帰路につきました。

最後になりましたが、熱心にご指導してくださった先生方と役員の皆様に改めてお礼申し上げます。ありがとうございます。

# 令和4年度長野県勤労者弓道選手権大会

期日：令和4年4月3日(日) 於：塩尻市弓道場



## 大会結果

### 個人の部

- 1位 生田 憲克(北信教員B)  
2位 水間 貴大(佐久市役所)  
3位 小島 樹(長野県庁A)

### 団体の部

- 1位 セイコーエプソンA(伊藤公二、神通川浩一、小林恒太)  
2位 長野県庁A(塚田滉巳、横澤志織、小島樹)  
3位 北信教員B(生田憲克、伊澤貴幸、窪田和恵)

上位2チームが6月11・12日に行われた全国大会に出場

## 私と弓道

長野支部 錬士五段 荒井 孝芳

弓道を再開したのは社会人になって二、三年経った頃でしょうか。仕事や生活に慣れて余裕ができたので、なんとなく休日スポーツと過ごすこともあったが、何か始めようかと思ったのがきっかけです。じゃあ何を始めようかと考えた時に、高校時代に打ち込んでいた弓道の道具がひと揃いあったので、軽い気持ちで弓道を再開しました。

そのような感じで気軽に弓道を始め、なんとなく審査を受審したり、誘われるままに大会に参加したりしてゆくうちに「もともとと上手になりたい!!」と思うようになりました。いろいろと悪癖が目立つ自身の射を何とか矯正しようと試行錯誤したのですが、なかなか思うようにならず、焦る気持ちが募っていき、気がつけば周りほとんど上達していて、よけいにへこんでいる状態でした。

そんな私に、長野支部・長野運動公園弓道クラブ・善光寺弓道会の諸先生方、弓友諸兄姉には、温かいご指導アドバイスを戴き、少しずつ私自身の射を見

つめ直すことができました。弓を引くことは、最初から最後まで自分自身の動作で相手のあるものではないのです。人が、人から教わり・人から得て・人から学ぶことにより技術も心も上達してゆくものだと改めて思い至りました。

私はかなり飽きっぽい性格だと思いますが、弓道は不思議と飽きることはありませんでした。始めは「気晴らし」「暇つぶし」程度の気楽な考えでしたが、今は弓の奥の深さを感じられ、そこに魅了されています。これからも、審査・講習会などに参加し、技術の向上に励み、仕事や生活と弓道を両立させて、充実した日々を過ごしてゆきたいと考えております。

新型コロナウイルスの感染拡大が続くなかで、これからのような状況になるか、またいつこの状況が収束するか、全くわからず不安だらけですが、早く収束することを祈りつつ、日々精進を続けてゆきたいと思っております。







# 第73回 全日本男子弓道選手権大会 第55回 全日本女子弓道選手権大会 長野県予選会

期日：令和4年6月5日(日) 於：松本市弓道場

## 大会結果

### 北信越錬成大会代表選手 男子

- 1位 清水 北登(須 高)
- 2位 伊熊 邦宏(飯 伊)
- 3位 志村 仁(諏 訪)
- 4位 平澤 敏弘(飯 伊)
- 5位 伊藤 公二(塩 尻)

### 北信越錬成大会代表選手 女子

- 1位 久保田智恵(長 野)
- 2位 牛越 和枝(安 曇)
- 3位 高地美佐子(上 小)
- 4位 宮島さおり(長 野)
- 5位 相原由美子(小 諸)



## 弓仲間紹介

木祖村弓道部長 細野 由貴

私が弓道を始めたのは、中学生の頃でした。住んでいた地域に弓道場があり、弓道部員も多かった記憶があります。当時、同級生七、八人と始めたのでわいわいとみんな楽しく弓をひき、先生にも恵まれて大会に出たりと色々な経験ができました。多くの方と関わり、仲間がいたから楽しく続けられたのだと今でも思います。そして、そのまま高校でも続けたいと思い、迷わず弓道部へ入部しました。高校卒業後は十年以上上弓道をしていませんでしたが、心の中ではずっとまたやりたいなと思っていました。まだまだ子育て中でしたが、家族の支えもあり何年前に再開しました。現在は木祖村弓道部の部長をしています。部員は少ないですが立派な弓道場があり、最近は中学生、高校生も一緒に活動しています。そ



▲日義道場にて

してなんと、中学生時代に教えていただいた先生達とまた出会い、今も指導いただきながら一緒に活動をしている幸せものです。

弓道はいくつになってもできるので年齢層も広く、小中学生から高齢の方まで一緒に活動できるのも嬉しいところです。今後はもっと弓道の良さを発信して仲間を増やしたいと考えています。また、大会に出場したり昇段することも目標にしています。

弓道は道具があれば一人でもできると思いますが、仲間と弓道の話したり射を見あたりする時間もとても大切だと思えます。

日々、弓道を教えて頂いている大先生達とも、道場ではしっかりと指導いただき、講習が終わると年齢関係なく和気あいあいと何でもない話ができる。私のいる木曾支部の弓道部はそんな方達ばかりです。そんな仲間と集まって弓がひけるのは幸せなことだなあと思っています。

上弓道をしていませんでしたが、心の中ではずっとまたやりたいなと思っていました。まだまだ子育て中でしたが、家族の支えもあり何年前に再開しました。現在は木祖村弓道部の部長をしています。部員は少ないですが立派な弓道場があり、最近は中学生、高校生も一緒に活動しています。そ

教えて頂いている大先生達とも、道場ではしっかりと指導いただき、講習が終わると年齢関係なく和気あいあいと何でもない話ができる。私のいる木曾支部の弓道部はそんな方達ばかりです。そんな仲間と集まって弓がひけるのは幸せなことだなあと思っています。



📺TVクルー也大勢きました!

令和4年4月26日火曜日  
テレビ朝日の旅番組「豊さんと憲武ちゃん」旅する相棒 城下町・松本編」の撮影が、松本市弓道場で行われました!  
短時間での過酷な撮影となりましたが、水谷豊さんも木梨憲武さんも、一生懸命弓道に挑んで下さいました。



# 旅する相棒

## 松本編



皆テレビ撮影は初めての経験!!  
ドキドキでしたが、放送を見ると上手あつく編集され(汗)  
楽しいひと時でした。

# 大会結果

令和4年度長野県勤労者弓道選手権大会

令和4年4月3日(日) 塩尻市弓道場

参加人数: 42名

### 個人の部

1位 生田 憲克(北信教員B)

2位 水間 貴大(佐久市役所)

3位 小島 樹(長野県庁A)

### 団体の部

1位 セイコーエプソンA(伊藤公一、神通川浩一、小林恒太)

2位 長野県庁A(塚田滉巳、横澤志織、小島樹)

3位 北信教員B(生田憲克、伊澤貴幸、窪田和恵)



## 第77回国民体育大会弓道競技 長野県少年男女一次選考会

令和4年4月2日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日)

東信: 小諸市武道館、北信: 須坂市弓道場、中信: 松本市弓道場、南信: 駒ヶ根市弓道場

参加人数: 東信(男子22名、女子32名)、北信(男子34名、女子44名)、中信(男子56名、女子89名)、南信(男子43名、女子53名)

通過者(男子合計156名中34名通過、女子218名中36名通過)

### ▲東信地区男子

相澤勇太郎(岩村田3年)

平林 知明(岩村田3年)

山口 峻矢(岩村田2年)

幸福 治(小諸商業3年)

原 響希(小諸商業3年)

藤極 龍(上田千曲3年)

### ▲東信地区女子

黒澤 萌(上田東2年)

甘利未珠咲(岩村田3年)

堀内 結裡(岩村田2年)

関戸葉奈瑛(佐久長聖2年)

関 珠瑞華(小諸商業3年)

中條 美織(小諸商業2年)

### ▲北信地区男子

山崎 琢己(須坂3年)

田中 拓夢(中野西3年)

平瀬 慶(飯山3年)

梨元 政宗(飯山3年)

風間 雅之(飯山2年)



- 宮原 保(長野西3年)
- 松山 光矢(長野日大2年)
- 水野 祐樹(長野日大2年)
- 宮澤 歩夢(長野日大2年)
- 畔上 広(長野日大3年)
- 和田 涼太(長野日大3年)
- 中島 遼大(長野日大3年)
- ▲北信地区女子
  - 田籠 乃愛(中野西2年)
  - 山田 美月(市立長野3年)
  - 川口 優花(須坂2年)
  - 落合 りな(須坂2年)
  - 丸山 りの(長野商業2年)
  - 吉原 夢姫(長野日大2年)
  - 峯村百合亜(長野日大2年)
  - 松木 陽奈(長野日大2年)
  - 宮澤 美玖(長野日大2年)
  - 隈崎 幸葉(長野日大3年)
  - 松橋 瑠璃(長野日大3年)
  - 滝内 花奈(長野日大3年)
  - 藤原 留依(長野日大3年)
  - 山田琉希菜(文化学園3年)
- ▲中信地区男子
  - 上野 大輝(松本県ヶ丘3年)
  - 佐原 響生(松本県ヶ丘3年)
  - 富成 祥万(松商学園2年)
  - 宮下 七輝(松商学園3年)
  - 宮村 達哉(塩尻志学館2年)
  - 黒田 隼矢(松本美須々2年)
  - 松田 倅弥(木曾青峰2年)
  - 杉原 倫(木曾青峰2年)
- ▲中信地区女子
  - 百瀬 奈津(塩尻志学館3年)
  - 重野 そら(木曾青峰2年)

- 武居希乃羽(木曾青峰3年)
- 小林 鈴菜(松商学園2年)
- 野村 愛夏(松商学園2年)
- 百瀬 美紅(松商学園2年)
- 青柳 愛美(松商学園2年)
- 山田 真心(松本美須々2年)
- 中田 陽菜(松本県ヶ丘3年)
- 澤守 望未(松本県ヶ丘2年)
- ▲南信地区男子
  - 北原 朋弥(伊那弥生2年)
  - 大場 遥斗(伊那弥生3年)
  - 近藤佑一郎(下伊那農業3年)
  - 飯塚 遥己(高遠2年)
  - 三澤俊一郎(高遠2年)
  - 大場 来霸(飯田OIDE長姫3年)
  - 篠原 登生(諏訪二葉3年)
  - 千村慎乃介(諏訪実業2年)
- ▲南信地区女子
  - 橋爪 里奈(伊那弥生2年)
  - 壬生さくら(伊那弥生2年)
  - 宮島 花珠(伊那弥生3年)
  - 小牧 璃帆(伊那弥生3年)
  - 三木 夏萌(伊那西3年)
  - 川尻 心華(阿智3年)

**第80回長野縣護國神社例大祭奉納  
県下弓道大会**

○令和4年4月29日(金)  
長野縣護國神社弓道場  
参加人数・高校生74名、一般58名、  
計132名  
■高校生の部  
(予選4射、決勝4射 計8射)

- 1位 飯島 悠斗(弥生B)
- 2位 内田 健斗(A豊科混合)
- 3位 前澤 拓真(縣陵男子A)
- 4位 福田 菜央(穂高商業B)
- 5位 竹田 美波(屋代B)
- ▲一般の部  
(予選4射、決勝4射 計8射)
- 1位 三村 仙市(松本I)
- 2位 西澤 徹(大町)
- 3位 神通川浩一(セイコーエフソンA)
- 4位 小島 樹(上田A)
- 5位 渡會 利子(佐久B)
- 6中
- 6中
- 6中
- 7中
- 6中

**第77回国民体育大会弓道競技  
長野県二次選考会**

○令和4年5月7日(土)・8日(日)  
須坂市弓道場、長野縣護國神社弓道場  
参加人数・少年男子35名、少年女子39名、  
成年男子13名、成年女子6名  
▲少年男子  
相澤勇太郎(岩村田3年)  
藤極 龍(上田千曲3年)  
幸福 治(小諸商業3年)  
宮原 保(長野西3年)  
松山 光矢(長野日大2年)  
黒田 隼矢(松本美須々2年)  
大場 来霸(飯田OIDE長姫3年)  
大場 遥斗(伊那弥生3年)  
篠原 登生(諏訪二葉3年)  
▲少年女子  
甘利末珠咲(岩村田3年)  
川口 優花(須坂2年)

- 田籠 乃愛(中野西2年)
- 吉原 夢姫(長野日大2年)
- 隈崎 幸葉(長野日大3年)
- 松橋 瑠璃(長野日大3年)
- 藤原 留依(長野日大3年)
- 武居希乃羽(木曾青峰3年)
- 百瀬 奈津(塩尻志学館3年)
- 百瀬 美紅(松商学園2年)
- 三木 夏萌(伊那西3年)
- 橋爪 里奈(伊那弥生2年)
- ▲成年男子  
藤森千友貴(上小)  
保科 良介(上小)  
小田切祐典(須高)  
清水 北登(須高)  
蟹澤 契太(上伊那)  
蟹澤 史弥(上伊那)  
岩村 拓生(飯伊)  
中村 健二(飯伊)  
▲成年女子  
大橋 歩実(佐久)  
高地美佐子(上小)  
米持 奈々(須高)  
萱沼あすか(長野)  
藤澤 敏恵(長野)  
馬場 絢音(上伊那)

**第65回松本市市民スポーツ大会  
『春季大会』弓道大会**

○令和4年5月29日(日) 松本市弓道場  
参加人数・高校生(男子36名、女子69名、  
計105名)、一般(33名)  
■高校の部(予選4射、決勝4射 計8射)

▲女子

- 1位 百瀬 美紅(松商A)
- 2位 小池 美織(松商B)
- 3位 吉丸 華(松商C)

▲男子

- 1位 西脇 大翔(美須々D)
- 2位 都築 諒太(美須々A)
- 3位 山田 晴斗(美須々C)

■一般の部(予選4射、決勝4射 計8射)

- 1位 松井 邦江(松本弓道会G)
- 2位 町田真由美(松本弓道会E)
- 3位 高際 和美(松本弓道会H)
- 4位 関 正幸(松本弓道会F)
- 5位 上條 寛(松本弓道会A)

第73回全日本男子弓道選手権大会ならびに  
第55回全日本女子弓道選手権大会 長野県予選会

○令和4年6月5日(日) 松本市弓道場

参加人数・35名

■北信越錬成大会 代表選手

- ▲男子
- 1位 清水 北登
- 2位 伊熊 邦宏 (須高)
- 3位 志村 仁 (諏訪)
- 4位 平澤 敏弘 (飯伊)
- 5位 伊藤 公二 (塩尻)



▲女子

- 1位 久保田智恵(長野)
- 2位 牛越 和枝(安曇)
- 3位 高地美佐子(上小)
- 4位 宮島さおり(長野)
- 5位 相原由美子(小諸)



第77回国民体育大会弓道競技  
長野県最終選考会

○令和4年6月11日(土)、12日(日)

県営飯田弓道場

▲少年男子

- 選手 幸福 治(小諸商業3年)
- 選手 相澤勇太郎(岩村田3年)
- 選手 大場 来覇(飯田OIDE長姫3年)
- 補欠 黒田 隼矢(松本美須々2年)

▲少年女子

- 選手 吉原 夢姫(長野日大2年)
- 選手 隈崎 幸葉(長野日大3年)
- 選手 百瀬 奈津(塩尻志学館3年)
- 補欠 田籠 乃愛(中野西2年)
- 補欠 百瀬 美紅(松商学園2年)

▲成年男子

- 選手 岩村 拓生(飯伊)
- 選手 清水 北登(須高)

選手 藤森千友貴(上小)

補欠 蟹澤 契太(上伊那)

▲成年女子

- 選手 藤澤 敏恵(長野)
- 選手 馬場 絢音(上伊那)
- 選手 高地美佐子(上小)
- 補欠 萱沼あすか(長野)

選手3人が7月30日、31日に福井市で開かれる北信越国体に出場します。

昇段昇格者

■「東海地区」臨時中央審査会

▽六段の部 令和4年5月29日

夏目 澄江(錬士五段 中高支部)

■「北信越地区」錬士臨時中央審査会

▽錬士の部 令和4年6月11、12日

松嶋 孝子(錬士五段 松本支部)

久保田 透(錬士五段 長野支部)

お詫び

第81号に誤記がありましたので訂正しますとともにお詫び申し上げます。

9p 弓仲間紹介 2段15行目

誤「(故)北村彌晶先生」

↓正「(故)北村彌昌先生」

つづいふ

昨年度より広報部に仲間入りしました塩尻支部の榛葉(しんは)と申します。

弓道を始めたのは今から十数年前の弓道教室がきっかけでした。子供のころから憧れのあった弓道に社会人になってから足を踏み入れました。細々と続けていけたらと思つて始めた弓道ですが、いつの間にか他の支部に知り合いも増え、まさか広報部の一員になる日が来るとは夢にも思っていませんでした。三ヶ月ごとの校正作業は知識の無さを痛感する日々です。

今はホームページでいつでも、過去のものでも見られる時代となり、紙の広報誌は持ち帰る人も少なくなっているという声も聞こえてきます。私はパソコン画面で見ることが苦手ということもありますが、やはり紙の手触りやインクの匂い、広げた時の文字や写真の全体像を見ることが好きなので、多くの方に紙の良さも知ってもらえたらなあと思つています。

まだまだ未熟者ではありますが、弓道も広報部員としても成長していけるように努力していきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。

塩尻支部 榛葉 良美